

令和6年12月18日
(事務担当)
伝統産業振興室 稲尾・小菊
TEL:076-225-1526 (内4467)

いしかわ生活工芸ミュージアム

企画展「工芸を楽しむ読書時間」「KOGEI×ART-とこしえの美を求めて-」
取材のお願い

いしかわ生活工芸ミュージアムでは、令和6年12月20日(金)より、2つの企画展「工芸を楽しむ読書時間」「KOGEI×ART-とこしえの美を求めて-」を開催します。ぜひ取材していただきますよう、お願いいたします。

企画展「工芸を楽しむ読書時間」「KOGEI×ART-とこしえの美を求めて-」

主催：いしかわ生活工芸ミュージアム

企画展名	工芸を楽しむ読書時間	KOGEI×ART-とこしえの美を求めて-
会期	2024年12月20日(金)～2025年3月10日(月) 9:00～17:00(最終日は15:00終了)	
会場	1F ギャラリー	2F 第4展示室
入場料	<無料>	<有料> 大人(18歳以上260円、65歳以上210円) 小人(17歳以下100円、未就学児無料)
内容	読書を趣味とする人はとても多いと思われがちですが、日本人の中には、1ヵ月に1冊も本を読まないという人が約半数いて、中には1週間に1冊のペースで読書をしている人は1割にも満たないという数字が出ています。読書を習慣づけるためには、読書の時間を決めておくことや、読書の環境を整えることが大切です。読書がもたらす効果ははかり知れません。語彙力、文章力が養われると同時に教養や知識が身につく、想像力が豊かになります。日々の暮らしでは、コミュニケーション能力が高まったり、ストレス解消にも役立ちます。また、健康上も長生きや認知力の低下を防ぐともいわれます。自分の趣味や興味を読書からひも解く事も読書を楽しむ一歩です。	「工芸」と「アート」はそれぞれ異なる視点からとらえられることがあります。現代の日本において、作家たちは見事に融合した作品を創り上げています。「工芸」の特徴は、素材や技法に重点を置き、伝統的な技術を活用して作品を制作します。作品は実用性を持ちつつ、美的な要素も加味されたものです。陶芸、漆芸、木工、染織、金工などがその一部です。一方で「アート」は想像力をかきたてるものを表現する美術と言って良いでしょう。目的よりもむしろ感情やアイデアを伝えるために制作され、コンセプトやメッセージを重視して多様な表現方法を探求します。絵画や彫刻、写真やインスタレーションなどがその一部です。但し日本的なものづくりの特性から、「工芸」と「アート」は交差してい

	これからの冬の季節、ほっこり読書時間をお気に入りの工芸品と一緒に過ごしてみませんか。本展が、そんな心地よい時間の演出をお手伝いできれば幸いです。	ると言っても過言ではありません。本展は、伝統と現代の融合によって、とこしえの美を求めて挑戦する県内在住の若手工芸作家による展覧です。KOGEI×ART が放つ新たな輝きとメッセージをご堪能ください。
--	--	---

お問い合わせ及び取材申し込み先

いしかわ生活工芸ミュージアム（石川県立伝統産業工芸館）

金沢市兼六町 1-1 Tel.076-262-2020

<http://www.ishikawa-densankan.jp> 指定管理者 ナカダ・クラフトプロジェクト

広報担当（弓場）E-mail : yuba@ishikawa-densankan.jp



工芸を
楽しむ
読書時間

会場：1Fギャラリー



2024.
12.20^金

2025.
3.10^月



石川県立伝統産業工芸館
ISHIKAWA PREFECTURAL
MUSEUM OF TRADITIONAL ARTS AND CRAFTS
いしかわ生活工芸ミュージアム

KOGEI×ART
—とこしえの美を求めて—

会場：2F第4展示室

工芸を楽しむ読書時間

読書を趣味とする人はとても多いと思われがちですが、日本人の中には、1か月に1冊も本を読まないという人が約半数いて、中には1週間に1冊のペースで読書をしている人は1割にも満たないという数字が出ています。読書を習慣づけるためには、読書の時間を決めておくことや、読書の環境を整えることが大切です。読書がもたらす効果ははかり知れません。語彙力、文章力が養われると同時に教養や知識が身につく、想像力が豊かになります。日々の暮らしでは、コミュニケーション能力が高まったり、ストレス解消にも役立ちます。また、健康上も長生きや認知力の低下を防ぐともいわれます。自分の趣味や興味を読書からひも解く事も読書を楽しむ一歩です。これからの冬の季節、ほっこり読書時間をお気に入りの工芸品と一緒に過ごしてみませんか。本展が、そんな心地良い時間の演出をお手伝いできれば幸いです。

出展者：北村紗希（型染）、木下幸（漆芸）、清水早希（ガラス）、スズキヨウコ（九谷焼）、田村星都（九谷細字）、富永手織工房（染織）、仲村葵（金工）、Frey design（家具他木工）

期間 2024年12月20日（金）～2025年3月10日（月）
会場 1Fギャラリー（無料ゾーン） 時間 9:00～17:00（最終日のみ15時まで）



WS day 石川県の木で茶を作ろう

木を薄く削って木の葉を作ります。

日時 3/9（日）10:00～12:00、13:00～16:00（予約不要）

参加費 500円

講師 Frey design（甲斐晋）



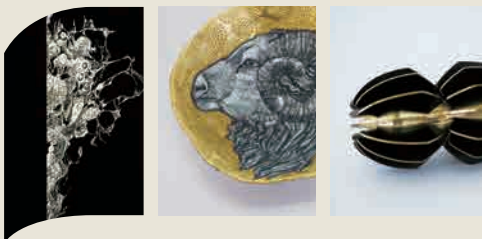
KOGEI×ART

—とこしえの美を求めて—

「工芸」と「アート」はそれぞれ異なる視点からとらえられることがあります。現代の日本において、作家たちは見事に融合した作品を創り上げています。「工芸」の特徴は、素材や技法に重点を置き、伝統的な技術を活用して作品を制作します。作品は実用性を持ちつつ、美的な要素も加味されたものです。陶芸、漆芸、木工、染織、金工などがその一部です。一方で「アート」は想像力をかきたてるものを表現する美術と言って良いでしょう。目的よりもむしろ感情やアイデアを伝えるために制作され、コンセプトやメッセージを重視して多様な表現方法を探求します。絵画や彫刻、写真やインスタレーションなどがその一部です。但し日本のものづくりの特性から、「工芸」と「アート」は交差していると言っても過言ではありません。本展は、伝統と現代の融合によって、とこしえの美を求めて挑戦する県内在住の若手工芸作家による展覧です。KOGEI×ARTが放つ新たな輝きとメッセージをご堪能ください。

出展者：井上雅子（九谷焼）、岸洗実（金工）、小島康加（漆芸）、坂野有美（染色）、高木基栄（ガラス）、豊海健太（漆芸）、村上有輝（友禅染色絵画）、やまわきてり（セラミックアート）

期間 2024年12月20日（金）～2025年3月10日（月）
会場 2F第4展示室（有料ゾーン） 時間 9:00～17:00（最終日のみ15時まで）



WS day アルミのお皿を作ろう

アルミ板に金槌や刻印で模様をつけ、お皿の形に仕上げます。

日時 2/2（日）10時～、13時～、15時～

参加費 4,000円 定員 各回3名

講師 岸洗実 対象 高校生以上



予約はホームページで受付中。当日も空きがあれば飛び入り参加大歓迎！



ミュージアムショップでは輪島塗と珠洲焼の作家作品を期間限定で販売します。
期間：2024年12月20日（金）～2025年3月12日（水）



次回企画展

3/14（金）～5/15（月）

花咲く工芸
ツナグTEXTILE

伝統工芸士、職人による実演・体験の日程

12月	2月	3月
21日（土）加賀繻	1日（土）加賀獅子頭	1日（土）山中漆器
22日（日）加賀繻	2日（日）加賀獅子頭	2日（日）山中漆器
28日（土）金沢仏壇★	8日（土）金沢表具	8日（土）加賀毛針
29日（日）金沢仏壇★	9日（日）金沢表具	9日（日）加賀毛針
	15日（土）茶の湯釜	15日（土）美川仏壇
	16日（日）茶の湯釜	16日（日）美川仏壇
11日（土）加賀友禅	22日（土）九谷焼	22日（土）竹細工★
12日（日）加賀友禅	23日（日）九谷焼	23日（日）竹細工★
13日（月祝）加賀友禅	24日（月祝）九谷焼	29日（土）和紙仁行★
18日（土）金沢仏壇		30日（日）和紙仁行★
19日（日）金沢仏壇		
25日（土）金沢漆器		
26日（日）金沢漆器		

★マークは体験あります。

【実演時間】午前10時から午後3時まで（正午から午後1時まででは休憩）
【実演場所】1階エントランスホール ※日程は変更となる場合がございます。※詳細はいしかわ生活工芸ミュージアムまでお問い合わせ下さい。

開館時間

午前9時～午後5時
（入館は午後4時45分まで）

休館日

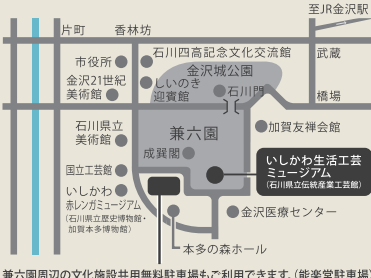
4月～11月 毎月第3木曜日
12月～3月 毎週木曜日および
年末・年始（12/31～1/3）
（祝日の木曜日は除く）

入館料

1階：無料		
2階：有料	個人	団体（30名以上）
大人 18才以上	260円	210円
大人 65才以上	210円	210円
小人 17才以下	100円	80円

交通案内

バス JR金沢駅より北鉄バス小立野方面行きに乗車約15分。出羽町で下車。徒歩1分。
タクシー JR金沢駅から約15分。
車 北陸自動車道金沢または金沢西インターから約30分。駐車場有（無料）



体験 PROGRAM

いつでも体験出来ます



【受付時間】 ①9:00～11:00 ②13:30～16:00

【所要時間】 いずれも約20分程度

※5人以上で体験希望の場合は3日前までに電話予約をお願い致します。TEL:076-262-2020 ※左記の体験はいずれも当館2Fへの入館が条件となっております。入館料は上記をご覧ください。